



佐多スタンダード 「児童生徒に小・中学校9年間で身につけさせたいこと」



項目	めざす子どもの指標								具体的な手だて			
	小学校低学年		小学校中学年		小学校高学年		中学生		学校	家庭・PTA・地域		
生活習慣	早寝・早起き・朝ご飯の習慣を身につける		□21:30までに就寝 □朝ごはんを必ず食べる		□22:00までに就寝 □朝ごはんを必ず食べる		□23:00までに就寝 □朝ごはんを必ず食べる		□食事・睡眠が不規則な児童生徒を把握し、必要に応じて家庭へ連絡をする	□時間に余裕をもたせる □子どもと一緒に食事をする		
	時間を意識して行動する		□次時の準備をしてから休む □時計を見て席に着く □時計を見て席に着く		□次時の準備をしてから休む □時計を見て席に着く □1分前着席30秒前黙想をする		□次時の準備をしてから休む □1分前着席、30秒前黙想をする □給食は10分以内に準備		□相手を思いやる、ルール、マナーの指導をする □児童生徒会としての取組の実施	□時間を守る声かけをする		
社会性	時と場に応じた身だしなみ・行動ができる		□学校の決まりを守った服装をする(シャツを入れる・ボタンをとめる・ネームをつけるなど)								□児童生徒会の取組として点検活動を行う □教職員による説明を行う	□学校のルールを知り、一緒になってチェックを行う
	仲間と協力して集団生活を送ることができる		□友達と役割を決めて仲良く遊ぶ □公共施設を利用する際はルールやマナーを守る □友達とゆずり合って仲良く遊ぶ				□仲間と注意し合い助け合って行動する		□時と場に応じた挨拶や言葉づかいができるようにする □相手の気持ちを思いやる言動ができるようにする		□児童生徒会による自治的な活動を行う □道徳の授業を要に、現状に関する話題を提供し、考える機会を設ける	□大人が進んで挨拶をする姿を見せる □場に応じた正しい言葉遣いを教える □地域の行事や活動に子供と共に積極的に参加し、地域の一人としての役割を果たす
学習	家庭学習を毎日する		1年: 30分以上(読書を含む)	2年: 40分以上(読書を含む)	3年: 50分以上(読書を含む)	4年: 60分以上(読書を含む)	5年: 70分以上(読書を含む)	6年: 80分以上(読書を含む)	1年: 90分以上 2年: 90分以上 3年: 120分以上(学年+1時間)	□「学習の手引き」を配布 □各種便り等による保護者への啓発	□静かな時間や学習時間をつくるなど、学習環境の整備に努める	
	読書をする機会を増やす		□年間100冊以上の本を読む								□年間20冊以上の本を読む	□大人の読書姿を子どもに見せる
情報モラル	TVやゲームの時間		□家庭で決めたルールを守る □就寝1時間前までに電源を切る									□家庭内でルールを決める □テレビ・ゲーム時間を管理する □大人がルールを守る姿を見せる
	スマホ・タブレットなどの使い方		□家庭で決めたルールを守る □就寝1時間前までにOFF □SNSに写真等をアップしない □人の悪口や陰口を書き込まない				□フィルタリングの大切さについて理解する □知らない人と連絡を取らない □友達と連絡する時は保護者の許可を得る □困りごとや心配事は必ず大人に相談する				□家庭で決めたルールを守る □フィルタリングの大切さについて理解する □就寝1時間前までにOFF □知らない人と連絡を取らない □SNSに写真をアップしない □許可なく人の写真を送信しない □人を傷つけることは書き込まない	□家庭への啓発と情報提供 □ルールやモラルの指導 □情報モラル教室の開催 □セーフメディアウィークの実施
準備	次の日の準備		□保護者と一緒に準備できるようにする		□時間割を見て自分で準備し、保護者に確認してもらう		□時間割を見てチェックしながら自分で準備する		□週報や生活の記録を見て自分で準備をする		□生活の記録などを利用して、計画、実行、反省のサイクルを確立させる	□確認の声かけをする
安全	自分の身の安全を守る		□交通ルール、交通マナーを守る □「いかのおすし」を守る □防犯ブザーを持ち歩く □勝手に外出しない □学校の過ごし方のルールやマナーを守る □災害時の避難場所やこども110番の家の確認								□交通安全教室の実施 □ルール・マナー指導の徹底 □懐中電灯の配布 □校内安全点検の実施	□反射たすき・懐中電灯の管理 □子供と一緒に通学路を確認する □交通ルール・マナーを教える □大人が模範となる姿を見せる
	人間関係形成能力 情報活用能力 将来設計能力 意思決定能力		□自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味・関心を高めながら意欲と自信をもって活動できるようにする		□友達のよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割が自覚できるようにする		□苦手なことや初めて挑戦することに失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにする		□一人一人が将来の夢や職業を思い描きながら自分の個性や適性を理解し、主体的な進路選択につなげていく		□学校だより、進路だより等情報発信による啓発 □計画的な進路学習・キャリア教育 □キャリアパスポートの作成	□家庭における家事の役割分担 □日頃から親子の対話を増やす □仕事や将来に向けた話題を増やす(夢、進路、親の仕事について) □進路や将来に対する親子間での共通理解